

先進地（現地）調査報告書




平成30年 8月20日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田 憲司 

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田 隈 啓二 北本 将幸 吉田 真樹子 吉田 憲司
日時	平成30年 8月 2日（木）～平成30年 8月 2日（木） 午前・（午後） 1時00分 ～ 午前・午後 3時00分
調査先	鹿児島県出水市
調査事項	フルマラソンの、企画・運営について
調査先面会者	出水市産業振興部シティーセールス課 課長  スポーツ交流係長  主査 
概要及び所見	別紙添付

別 紙

NHK大河ドラマ「いだてん」の放送決定に伴い、藏原市長は「フルマラソン」実施宣言をされた。しかし、コースや大会要項、運営等の具体的な内容はこれからだと思う。そこで、玉名市と同規模（人口等）で、フルマラソン大会を実施している市として、鹿児島県出水市を選定し、今年で30回目を迎える「出水ツルマラソン大会」について、視察研修に出向した。

まず、出水市は、人口52,000人で、九州新幹線の出水駅があり、本市と共通点も多い。

そんな中、昭和62年から開催され、当時は20km、10km、5kmに、475名だったものが、平成5年にフルマラソンを追加され、現在では、フルマラソン、10km、3kmに、合計3,300人を超える方々がエントリーをされている。（フルマラソンは2,000人）

特徴としては、参加料が4,500円で、当日受付があり、それから、有料ではあるが、おもてなしの前夜祭が開催される。

通常の都市型マラソンと言われるものは、参加料が10,000円から15,000円で、当日受け付けはなく、必ず宿泊しなければならない。これは、開催地の経済効果を狙ったものだろう。しかし、宿泊のキャパが不足していることや、新幹線の駅があることで、当日のランナーの輸送が可能であるからだと思う。

これらのことは、本市が参考とすべき点であると思う。

しかし、課題も多い。事業費に出水市は補助金として600万円の支出をしているそうだが、参加料の値上げも検討しているそうである。

さらに、大会に携わるボランティアの確保に苦慮されていた。ボランティアの高齢化もあり、市内各種団体や高校生、市職員にも呼び掛けているが、時期的にイベント等が多い時期でもあるので難しくなっているとのこと。（10月末の開催）

さらには、スポンサーの新規開拓やコースに未舗装区間があるため、コースの見直しも検討する必要があるとのことだった。

それでも、ランナーのリピーター率が40%を越えており、私もエントリーして、実際に大会に参加して、コースや運営等を感じ取りたいと思う。





これらを、本市での実施に向け参考とさせて頂き、千載一遇のチャンスを活かしていきたい。「以下余白」

先進地（現地）調査報告書

平成30年 8月20日

玉名市議会
議長 中尾 嘉男 様氏名 吉田 憲司 

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田隈 啓二 北本 将幸 吉田 真樹子 吉田 憲司
日時	平成30年 8月 3日（金）～平成30年 8月 3日（金） （午前）・午後 10時00分 ～ 午前・午後 12時00分
調査先	鹿児島県指宿市
調査事項	フルマラソンの企画・運営について
調査先面会者	指宿市観光課観光総務係 係長  主事  指宿市観光協会 事業部長  
概要及び所見	別紙添付

別 紙

NHK大河ドラマ「いだてん」の放送決定に伴い、本市の藏原市長は「フルマラソン」実施宣言をされた。しかし、コースや大会要項、運営等の具体的な内容はこれからだと思う。そこで、玉名市と同規模（人口等）で、フルマラソン大会を実施している市として、鹿児島県指宿市を選定し、今年で37回目を迎えた「いぶすき菜の花マラソン大会」の研修に出向した。

まず、指宿市は、人口40,000人で、薩摩半島の南端に位置し、九州新幹線の終点、鹿児島中央駅からJR指宿枕崎線で1時間30分ほどかかる。

しかし、毎年、1月に開催される「いぶすき菜の花マラソン大会」は、ランナーでなくても知名度は抜群。

この大会も、種目、コース、運営等々、紆余曲折があったそうだが、現在では、フルマラソンのみとなったものの、今年も13,000人を超えるランナーが参加した。

大会事務局は、指宿市観光協会が担当、運営に当たり、主管は指宿市陸上競技協会。事業費は約1億円。これは、ランナーの大会参加料（7,000円）、市から700万円の補助、あとは協賛団体（テレビ局、旅行会社等）からの収入がある。また、県知事を大会名誉会長に充て、鹿児島県警の警備体制をお願いしているそうだ。

課題としては、新幹線沿線の都市型マラソン大会の創設で、年々参加者が減少傾向にあるとのこと。（北九州マラソン、熊本城マラソン、鹿児島マラソン等）

また、宿泊施設が少なく、料金が高いそうだ。そして、出水市と同様、ボランティアの確保に苦慮されている。コースの警備、給水所の運営、案内、大会冊子等の袋詰め、ゴール後のおもてなし等、多くのボランティアが必要であるが、高齢化の問題もあり、若い人たちにも協力を促し、また、市職員についてもほとんどがボランティアとして携わっているそうだ。

多くのランナーが、菜の花、海岸線、池田湖、開聞岳を望む風光明媚なコースとゴール後のおもてなしに、人気の秘密があるのかもしれない。

また、現在、放送されている、大河ドラマ「西郷どん」のドラマ館が指宿市にもあると聞き、足を運んだ。指宿市の博物館を利用し開催されており、鹿児島市のドラマ館に引けを取らない内容と、来館者も見られた。


ドラマ館についても、有意義な視察ができたと思う。「以下余白」

先進地（現地）調査報告書




平成30年12月3日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田 憲司 

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田隈 啓二 北本 将幸 吉田 真樹子 吉田 憲司
日時	平成30年10月16日（火）～平成30年10月16日（火） 午前・午後 2時00分 ～ 午前・午後 4時00分
調査先	滋賀県野洲市
調査事項	消費生活、生活困窮者対策等について
調査先面会者	野洲市議会事務局 主査  総務部納税推進課 課長  主事 
概要及び所見	別紙添付

別 紙

市民の「しまった」「困った」「どうしよう」そんな時のニーズに応えるため、滋賀県野洲市は、先進的取り組みの象徴である「暮らし支えあい条例」を制定されています。これらの事業内容や、条例の果たす役割等を研修するために、会派で出向致しました。

まず、地域性や基本的な考え方として、近江商人の理念が根底にあります。売り手よし、買い手よし、世間よし、いわゆる「三方よし」の精神です。このことが、当該条例にも反映され、消費者（買い手）よし、事業者（売り手）よし、地域（世間）よし、となることを基本方針とされています。

また、消費者トラブルをはじめとする市民の暮らしに関わる様々な問題の発生の背景には、貧困、認知症、障害、家庭問題、孤立など、生活上の課題が多くあることを踏まえて、消費者トラブルの解決のみならず、生活困窮者等を支援し、安心して、市民が支え合うくらしの実現を目的とされています。

まず、行政として、様々な相談ごとを、複数の担当課（窓口）で説明しなくて済むように、窓口を一元化（市民生活相談課の設置）し、それと同時に各課が情報の共有化ができ、縦割りではなく、全庁的に問題の把握、対策、対応ができる仕組みが強化された。また、困っている市民を、市役所から見つけることに努められ（税金滞納、生活保護等）、そのうえで、相談しやすい環境づくりにも取り組まれている。

その成果として、新規相談件数の大幅な増加が表れ、生活困窮者の滞納等に伴い、差し押さえによる一時的な徴収よりも、就労支援等の下、生活再建を経て納税をしていただく方が、行政にとってもプラスとなった。また、市内で訪問販売をする場合は、市への登録制とし、事業者情報を事前にすることができるようになったことなどが挙げられる。

この研修で1番感じたことは、市側（行政側）が、「おせっかいが基本です」との、キャッチフレーズを掲げ、様々な困りごとや問題点を全庁的に把握していくことから始まり、そして、これらの情報共有、対応、対策を行うことによって、近江商人の理念である、「三方よし」が実現されていることを実感しました。

野洲市は、人口5万人の市であるが、本市以上にアグレッシブで斬新的で前向きな姿勢には、参考にすべき点が多くあり、大変有意義な研修となりました。


また、研修後には、高校サッカーで全国制覇をした、野洲高校の地元でもあることから、野洲川歴史公園サッカー場（天然芝1面、人工芝2面）を視察させて頂いた。「以下余白」

先進地（現地）調査報告書



平成30年12月3日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田 憲司 

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田 隈 啓二 北本 将幸 吉田 真樹子 吉田 憲司
日時	平成30年10月17日（水）～平成30年10月17日（水） 午前・午後 10時30分 ～ 午前・午後 12時00分
調査先	兵庫県明石市
調査事項	公共施設、市街地活性化事業について
調査先面会者	（元）明石市都市整備部長 （現）パピオス明石管理組合法人 室長  明石市市民生活局あかし総合窓口課長 
概要及び所見	別紙添付

別 紙

兵庫県明石市は、神戸市の西隣、瀬戸内海に面した、人口約29万人の中核市に指定されている市である。

明石市は、市長交代を機に、人口が5年連続で増加、赤ちゃんの出生数も3年連続の増加、また、そのことによる税収アップも顕著であり、中核市への移行を実現、V字回復がさらに加速、関西の住みたい街ランキングでは14位にランクイン、また、路線価も毎年上昇しており、今後、ますます注目されるエリアと言える。

市の衰退を食止めるべく、JR明石駅前の中心市街地活性化基本計画が策定され、再開発事業の方針転換を行った。駅前の店舗等を解体し、新たに建設する公共施設に集約、その隣には、タワーマンション建設を誘導。34階建て、216戸は、販売開始から4時間で完売となったそうだ。

地方は、なかなか民間主導は難しいのが現実で、また、行政とは市民への「サービス業」であることを念頭に開発事業に着手された。

そこで、民と公が集約された、駅前再開発施設は、「こども」「やさしい」「本」をコンセプトに作られた。6階建てで、6階は市の総合窓口と、子ども健康センター。5階は、子育て支援センター、一時保育ルーム、中高生交流施設、親子交流スペース。また、4階はすべてあかし市民図書館。1階から3階は、民間の書店、美容院、医療機関、飲食店が入っている。まさに「共存共栄」の施設としてとても賑わっていた。

しかし、影の部分もある。当初、財政を抑制するために、各種団体への補助金の見直し、公共事業の抑制、さらには職員の給与を3%カットなどが挙げられる。

ただ、これらの事は、各分野でのV字回復をみれば、プラスであったと思う。

この、斬新で、思い切った方針転換は、行政（市）は、市民へのサービス業であり、その中で市民ニーズをきっちと把握することから、始まるとのこと。


玉名市は、明石市に比べると、人口、財政規模も小さいが、新幹線の駅、在来線の駅を持ち、新玉名駅前開発事業も課題となっている。その点については、十分に参考やヒントとなるものをご享受頂いたものと思う。「以下余白」

報告（広聴・住民相談）会報告書

平成30年12月17日

玉名市議会

議長 中尾嘉男様

氏名 吉田憲司 

下記のとおり、開催しましたので報告します。

参加議員	吉田憲司		
日時	平成30年11月30日（月）～平成30年11月30日（月） 午前・午後 7時00分 ～ 午前・午後 8時30分		
場所	玉名市民会館 （第1会議室）	参加者数	160名
会議名	吉田けんじ 市政報告会		
内容	<p>市議会議員として、市議会に送って頂き、1年が経過をしました。この1年間は、見聞きするすべてのことが初めてのことで、戸惑い、悩みながらも、いろんな方々からの助言を受け、どうにか議会活動を行うことができました。</p> <p>この1年間、選挙、そして当選からこれまでの経過を市民の皆さまにご報告し、さらには、これからの議員活動への意見や助言を賜りたく、標記報告会を開催致しました。</p> <p>内容としては、当選後の会派結成、各議会での一般質問、賛否の理由、PR動画をはじめとする大河ドラマ「いだてん」に関する議員活動（委員会活動）、そして、今後の玉名市の将来像とビジョンをお話ししました。</p> <p>市民の皆さまからは、「市議会だよりは、読みよるばってん、今日の話ば聞いて、よく分かった」などの意見を頂きました。ただ、「少子化対策に力を入れなん」「マイキープラットホームが分かりにくい」との厳しい意見も頂きました。今後も、このような意見を参考にさせて頂き議員活動に努めるとともに、また、機会をつくり継続できればと、考えています。「以下余白」</p>		